

議 事 録

日 時	2024年 9月13日 15:00～16:00
作成者	鈴木
場 所	基礎医学実習室

会議名	令和5年度 第1回 学校関係者評価委員会	
出席者 (敬称略)	外部委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林 弘康 (東京都理学療法士協会 相談役) ・ 三沢 幸史 (東京都作業療法士協会 副会長) ・ 田中 匠作 (あい介護老人保健施設 作業療法士主任) ・ 関 雅彦 (板橋ロイヤルケアセンター リハ科係長) ・ 横山 浩康 (熊谷総合病院 リハ科 課長) ・ 下河辺 雅也 (山田記念病院 リハ科 技師長)
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 草野 修輔 (学校長) 林 正志 (副校長) 石垣 栄司 (教務部長) 中嶋 裕之 (事務部長) 阿部 靖 (PT学科統括学科長) 深瀬 勝久 (OT学科統括学科長) 手塚 雅之 (OT学科昼間部学科長) 松生 容一 (OT学科夜間部学科長) 黒木 光 (PT学科昼間部学科長) 土手 延恭 (PT学科夜間部学科長) 鈴木 達也 (事務局 課長代理) 樋口 豊朗 (事務局 課長代理)
	欠 席	大塚俊平 (錦クリニック)
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 	
議 事		
<p>1. 学校長挨拶 冒頭に草野校長より、委員会開催にあたり挨拶があった。</p> <p>2. 委員紹介 外部委員より自己紹介があった。</p> <p>3. 学校関係者評価委員会の目的について 中嶋事務部長より、学校関係者評価委員会の目的について説明を行った。</p> <p>4. 令和5年度 重要指標報告 中嶋事務部長より、令和5年度重要指標としている「中途退学者数の途中経過」「学生募集途中経過」について状況の説明を行った。</p> <p>5. 学校関係者評価結果と令和5年度取り組み重点テーマについて 石垣教務部長より、学校関係者評価の評価点が低かった学習成果の中退を中心に説明を行った。</p> <p>6. 意見交換 委員より、以下の質問・意見があった。</p>		

Q退学しそうな学生に対し、どのようなアプローチをしているのか

A

- ・様子がおかしい学生に対し、早期に面談を行っている。
- ・攘夷教育を行い、クラスのかかわりや接点を増やす取り組みを行っている。
- ・小テストを行う中、結果が悪い学生に対し補講を実施している。
- ・作業療法学科の学生は成績不審者が多いが、学校に残ろうとする傾向がみられる。その部分が退学率の低さとなっているのでは。

Q1年生の退学者が多いが、職業意識もなく勉強意欲が無いのか、基礎学力が無いのか、どっちなのか

A

- ・低学力者は学んだことのない科目に戸惑い、悩んでいる。国語力や思考の授業を取り入れている。
- ・基礎学力の補填が必要な学生と、基礎学力から医学教育への移行をしなければならない。

QPTOTの仕事は年々広がりを見せている。全貌が分からないうちにやめてしまう学生に対し、PTOTの可能性を伝える必要がある。学校ではどのように取り組んでいるか。

A

- ・以前は1年の早期にリハビリテーション病院の見学に行っていたが、新型コロナの影響で現在は休止中となっている。国立障害者リハに見学に行っているがうまく臨床上に繋がっていない。
- ・PTOTの可能性について授業中で伝えるように努めているが、実際のPTOTに触れる機会は十分とは言えない。
- ・今までは職業のアプローチがうまく行っていたが今は難しい。
- ・攘夷教育を行ってから現場見学を行わないと、理解が出来ない。

次回：第2回学校関係者評価委員会は、12月～1月ごろ開催予定

次回会議予定：令和6年7月上旬